

■令和7年度 F-e目標

内容	項目	単位	除外施設	区分	5年度	6年度	7年度
市有施設におけるエネルギー使用量削減	電気使用量削減	千kg-CO2換算 (千kwh)		目標値	2,395 (6,337)	2,044 (5,646)	2,044 (5,646)
				年度ごとの参考値※		2,376 (6,501)	2,209 (6,292)
				実績値	2,468 (6,527)	2,591 (6,597)	
	電気以外のエネルギー使用量削減 (都市ガス、LPG、A重油、軽油)	千kg-CO2換算 (kℓ：原油換算)		目標値	1,176 (591.3)	1,083 (541.0)	1,083 (541.0)
				年度ごとの参考値※		1,241 (620.4)	1,222 (610.5)
				実績値	1,303 (654.9)	1,234 (616.3)	
自動車利用によるエネルギー使用量削減 (ガソリン・軽油・天然ガス)	千kg-CO2換算 (kℓ：原油換算)		目標値	80 (30.6)	71 (26.5)	71 (26.5)	
			実績値	83 (31.2)	61 (22.7)		
市有施設における可燃系廃棄物発生抑制	可燃系事業廃棄物 (重さ)	kg	小中学校	目標値			
				実績値	30,683	17,942	
	可燃系一般廃棄物 (40ℓ袋)	袋	小中学校	目標値			
				実績値	1,689	1,849	
再生紙の使用量削減		千枚：A4換算	小中学校	目標値			
				実績値	4,494	4,566	
市有施設における水道水の使用量削減		㎡	市営プール 小中学校プール	目標値			
				実績値	79,566	75,537	
各部署での取組状況の点検 F-e全体に関わる方針や取組内容の内部共有				<p>【目標】</p> <p>◎各部署・施設において、業務と紐づいたエネルギー使用状況を常に意識し、環境配慮行動の改善や変更といった動きに繋げる。</p> <p>◎施設に着目した効果的・効率的なエネルギー使用量（環境負荷）低減を図る。</p> <p>【具体的方針】</p> <p>方針1：令和3年度に行ったF-e運用に係る改善・変更に基づく以下の取組により、PDCAサイクルの適切な運用に向けた改善を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員の方針策定と周知</li> <li>・「目標値」・「想定値」の解釈と活用方法の理解促進</li> <li>・「環境監査」・「優良取組選定」の実施方法を含めた再整理</li> </ul> <p>方針2：重点管理部署・施設をはじめとした市有施設において、以下の取組により環境負荷削減を継続・進展させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス排出量の把握と分析</li> <li>・施設ごとの目標値と実績の乖離状況の注視及びその要因の検討</li> <li>・設備保守事業者等とのエネルギー使用量削減に向けた運用方法の変更等に関する協議（情報交換）</li> <li>・設備保守事業者等との情報交換により得られた知見の展開</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>◎2050年の脱炭素を目指す水準で取組の加速化を図らなければならないことを意識し、環境配慮行動の改善に繋げる。</p> <p>◎各部署・施設において、エネルギー使用状況の把握に努め、施設改修や、エコチューニング等の運用改善による効果的・効率的なエネルギー使用量（環境負荷）低減を図る。</p> <p>【具体的方針1】</p> <p>第5次福生市地球温暖化対策実行計画（以下第5次計画）について、以下のポイントを中心に庁内での理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年脱炭素に向けた気候変動対策の必要性</li> <li>・第5次計画の基本方針（4つのポイント）</li> <li>・計画決定に伴うF-e運用に係る改善・変更の周知と理解促進</li> </ul> <p>【具体的方針2】</p> <p>重点管理部署・施設をはじめとした市有施設において、以下の取組により環境負荷削減を継続・進展させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス排出量の把握及び、目標値と実績の乖離状況の注視及びその要因の検討</li> <li>・エコチューニング等の実施手法例の理解</li> <li>・設備保守事業者等との設備における効率の良い運用方法に関する協議（情報交換）と、得られた知見の展開</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>◎取組の市内展開に向けて、F-eの仕組みを見直す。</p> <p>◎市民参加型の点検・評価の新たな手法を検討・試行し、検証する。</p>	
環境配慮に関する取組状況の公開 市民による環境情報の発信				<p>【目標】</p> <p>市民の環境への関心を高めると共に、各部署・施設から市民との更なる協働を働きかける。</p> <p>【具体的方針】</p> <p>方針1：環境協働に関わる事業の位置づけや実施状況の把握の方法等について、環境基本計画等の改定に合わせて再検討する。</p> <p>方針2：市は環境対策において市民を牽引する立場として、環境負荷低減の観点からwebの活用等を積極的に進める。</p> <p>方針3：市民への環境に関する情報発信を強化して、市が行う事業に対する市民の関心を高める。</p>	<p>【目標】</p> <p>◎エコシティふっさへの機運醸成にむけて、環境に関する取組の発信、協力連携による発展に努める。</p> <p>具体的方針1 各部署・施設から様々な形でエコシティふっさの形成につながる情報発信を行う。</p> <p>具体的方針2 各部署・施設における環境取り組みを、市民・事業者または他部署・他施設と連携することにより発展させる。（それぞれ、対象や方法、内容は部署・施設の特성에応じて工夫する）</p>	<p>【目標】</p> <p>◎新たな点検・評価にともなう情報発信のありかたを検討・試行し、検証する。</p>	

※年度ごとの参考値とは、以下の方法で定めた計画目標までの各年度における目安の排出量とする。

- ・電気、電気以外の排出量
- 運用改善施設においては、令和4年度実績に対して毎年1%削減した値
- 改修施設については、改修年度の翌年から5次計画の期待削減量を引いた値
- 計画最終年に改修予定となっている施設については、最終年に期待削減量を引き、参考値とする。
- ・自動車による使用量については、令和4年度実績から10%削減した値を計画期間の目標としているため、参考値の設定は行わない。